

はじめに

筑波大学社会工学専攻では、2015 年度から継続して石岡市の旧市街地・農村景観についての調査を市から受託している。旧市街地については、これまでに旧水戸街道(中町通り)の連続立面図の作成、歴史的建造物悉皆所在調査、旧吉田クツ店・旧近清書店をはじめとする計 9 件の住宅(店舗兼用住宅を含む)の実測調査等を実施してきた。本報告では、この調査の成果を発表することにしたい。なお、以上と平行して茅葺き建物の悉皆調査、茅葺き建物の屋根葺き替え・改修も行っているが、これについては別の機会に改めて報告する。調査は大学院のワークショップ(実習科目)として実施され、多くの大学院生の参加を得た。

石岡の大火と看板建築

昭和 4 年(1929)3 月 14 日に、石岡の市街地は大火に見舞われた。そして大火の復興の過程で、旧水戸街道の拡幅と駅前通りである八間通りの整備が行われるとともに、商人たちは道に沿って「看板建築」と称される町家建築を石岡の建てるようになった。

この看板建築とは、木造建築でありながら、通りに面して洋風ファサード(正面の垂直な壁面)を有する店舗兼住宅で、関東大震災(大正 12 年(1923))後の東京・下町で流行したものである。看板建築では、銅板・モルタル・スクラッチタイルがその表面の仕上げに用いられることが多かった。

石岡の看板建築の特徴

調査の目的の一つは、石岡の看板建築がいかなる特徴を持つのかを明らかにする点であった。ちょうど調査を開始した 2015 年 6 月から 8 月にかけて、石岡市立ふるさと歴史館において第 2 回企画展「左官・土屋辰之助と石岡の看板建築」展が開催されていた。この展覧会に伴う調査により、左官職人である辰之助の活躍により、優れたモルタル洗い出し仕上げが石岡の看板建築には用いられていたことが分かった。筑波大学の調査では、個々の建築の実測調査を行い図面化して、特徴を解明することとした。

立面図を作成することで判明したのは、石岡の看板建築には間口が 4 間程度(7m 強)で、二階建てで高さが 8-9m 程度のものが多かったことである(図 1)。この結果、ほぼ正方形のファサードを持つ建築が多く、また他の建物の高さもほぼ同様で、中町通りには整った街路景観が広がっていることが分かった。東京では間口がより狭く、3 階建ての看板建築も珍しくないから、この点が石岡の特徴と言って良いであろう。

看板建築の内部の実測調査では、現在ではサイディングに隠されているが内部に旧来のファサードが残っているものもあること、一階の店舗が拡大されることにより階段が付け替えられているものがあること、二階の座敷が発達しており、今でも残されていることなどが判明した(図 2)。

看板建築以外の町家

立面の調査を通じて、看板建築以外の町家も残されている可能性が高いことが判明した。このため 2016 年の調査では、旧市街地中心部(中心市街地活性化基本計画対象地区内)の歴史的建造物について悉皆の所在調査を実施した。これは、町の中を歩き回って一軒ずつ台帳を作成し、その建築の特徴を書き込むというものである。この結果、江戸型の町家、和洋折衷型町家、近代和風住宅などを含む 590 棟の歴史的建造物がいまなお石岡の中心部には残されていることが判明した(図 3)。

これらの町家についても少しずつ実測調査を開始しており、大火後に多様な様式を持つ優れた町家建築が建設されていたことが解明されつつある。

おわりに

石岡の市街地は、その長い歴史を反映して魅力的な歴史的景観を有している。我々の調査が明らかにしたのは未だその一端に過ぎないであろう。今後も特質を解明する作業を続けていきたいし、そこから進んで町並みを保全し、さらに魅力的な町並みとなるように協力したい。

文献

- ・平井恵理ほか「石岡市の町並み景観の特徴と看板建築」『日本建築学会大会学術講演梗概集』建築史・意匠（以下、『梗概集』），pp.325-326，2016年8月
- ・今井文子ほか「石岡市の看板建築における店舗空間の拡大とその影響」『梗概集』，pp.327-328，2016年8月
- ・徐暢ほか「石岡市旧市街地における歴史的建造物の残存状況」『梗概集』 pp.59-60，2017年8月

- ・大井菜摘ほか「旧和泉屋戸田邸の建築的特徴」『梗概集』，pp.61-62，2017年8月
- ・宋宇辰ほか「水西酒店の建築的特徴」『梗概集』，pp.597-598，2018年9月
- ・麻田亜澄真「中藤米店」の建築的特徴『梗概集』，pp.599-600，2018年9月
- ・掛神有希奈ほか「前忠商店」の建築的特徴『梗概集』，pp.601-602，2018年9月

東側：



8、9m程度の高さ

西側：



図1 中町通り沿いの連続立面図

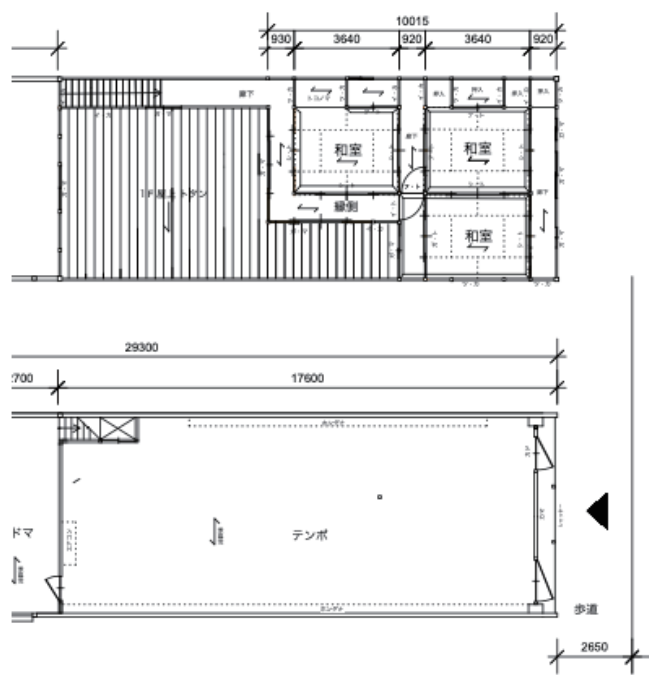


図2 近清書店平面図

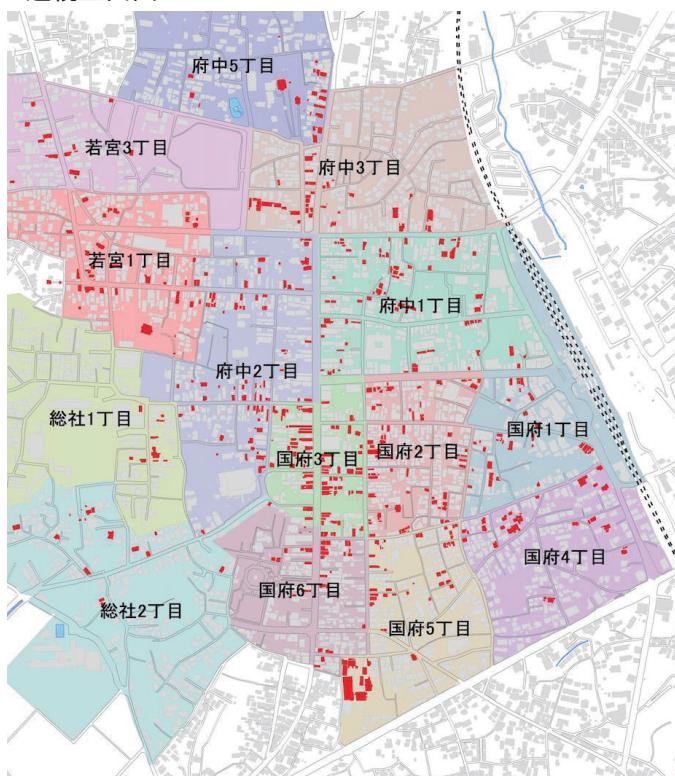


図3 歴史的建造物の分布